

可児市 里山プラス山城 MAP

【MAPのご利用に際して】

市内の里山5カ所と城跡(伝承もふくめて)10カ所をご紹介します。可児市の歴史を感じながら、四季折々の里山や山城に足を延ばしてみませんか?きっと新しいふるさとを発見することができるはず。



国史跡 美濃金山城跡

美濃金山城は、天文6年(1537)、斎藤大納言(妙春)によって築かれたとされます。当初、鳥峰城と呼ばれていましたが、永禄期に織田信長が美濃に侵攻すると家臣の森可成に与えられて金山城と名を変え、以降、長可、乱丸、忠政が城主となりました。山城の変遷を考える上で貴重な史跡であることが評価され、平成25年10月には国の史跡に指定されました。

美濃加茂市

御嵩町

木曾川渡し場遊歩道

木曾川渡し場遊歩道は、江戸時代より木曾川を渡る場所として栄えた渡し場があった場所です。橋ができて役目を終え荒れ放題の竹藪となっていたところを、木曾川左岸遊歩道友の会の手によって整備され、遊歩道ができました。



寄り道 SPOT

明智城跡

美濃の守護の一族である、土岐頼兼が明智氏を名乗り、康永元年頃に築城したといわれています。多くの人が知るものの謎に包まれた人物、明智光秀のゆかりの地としても知られています。



久々利城跡

土岐氏の一族である久々利氏によって築かれたと伝わります。築城当初は単調な造りであったと思われませんが、戦国時代後半に横矢、枡形虎口、横堀等が導入されるなど、複合的な構造が特徴です。天正11年(1583)美濃金山城主森長可に攻略され、久々利城は落城したといわれています。



今城跡

天文年間頃に地元の土豪である小池家継が築いたと伝えられ、土橋、土塁、枡形虎口、切岸など戦国末期の遺構が今でも残っています。



多治見市

地蔵山のつどい

- ゴミは必ず持ち帰ってください。
- 火気厳禁。自然を大切にしましょう。
- 城跡は私有地です。マナーを守りましょう。

お問合せ先

可児市 環境課

〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地

TEL 0574-62-1111

Mail kankyo@city.kani.lg.jp

発行年月 令和元年10月